

チャレンジクラス  
「あたご Space」

スペース



の新中学校1年生入級説明会



多摩市ユネスコ  
スクールイメージ  
キャラクター  
「ゴーヤン」

多摩市教育委員会

チャレンジクラス



# 「あたご Space」の概要

- 概要(他の学校との違い・目的・支援のキーワード)
- 指導の方針
- 入級や退級について
- 今後の手続きについて

# 💡 「あたご Space」とは？

不登校の生徒へ実態に応じた支援を行うために中学校に不登校対応校内分教室を設け、教員を配置する。

## イメージ

これまで(令和6年3月31日まで)



東愛宕中学校  
【通常学級のみ】

これから(令和6年4月1日から)



東愛宕中学校  
【通常学級と**チャレンジクラス**】



# 「あたごSpace」と他の学校の違い

## 学びの多様化学校 (分教室)

- 設置校に転学
- 特別の教育課程
- 設置校と違う場所

### 【例】

- 調布市立第七中学校  
「はしうち教室」
- 福生市立福生第一中学校  
「7組」

## 適応(指導)教室

- 在籍校に所属
- 在籍校の教育課程
- 教育センター

### 【例】

- 多摩市教育センター内  
適応教室「ゆうかり教室」

## チャレンジクラス

- 設置校に転学
- 設置校の教育課程
- 設置校の校内

### 【例】

- 東愛宕中学校内に設置  
「あたごSpace」



# 「あたご Space」とは？

## 対象となる生徒

### 【対象】

☑現小学校6年生から中学校2年生

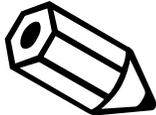
☑年間 30 日以上欠席し、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくてもできない状況にある生徒

☑断続的な不登校又は不登校の傾向が見られる生徒

チャレンジクラス



「あたご **Space**」の概要

 指導の方針



# 「あたご Space」の指導方針

## 📎 名称の由来

「あたご Space」という名称には、チャレンジクラスが生徒にとっての「居場所(Space)」となり、また、このクラスには「宇宙(Space)のような大きな可能性がある」という2つの願いを込めています。

## 📎 チャレンジクラス設置の目的

不登校生徒が安心して学校生活を送ることができるようなゆとりある生活時程を実現し、実態に応じた支援を行います。



# 「あたご Space」の指導方針

## 支援のキーワード

整える

登校日数の増加

ゆとりある生活時程の中で「リフレッシュタイム」などを取り入れ、生活リズムや心身の状況を整え、在籍前の年度より登校日数を増やしていきます。

分かる

学習内容の定着

一人一人の学習状況に合わせた個別学習やグループ別学習など指導方法や指導体制の工夫改善に努め、学習内容を確実に身に付けることができます。

つながる

学校・相談機関とのつながりの構築

個別支援計画を活用し、関係機関と連携を図り「学校内外の機関等による相談・指導等を受けていない生徒数」を0にしていきます。



# 「あたご Space」の指導方針

## 指導方針

### 指導方針①

- ・ ゆとりある生活時程と学び直しの可能な1単位時間の授業構成

### 指導方針②

- ・ 体験的な学習とICTを効果的に活用した学習活動の工夫

### 指導方針③

- ・ 個別最適な学びや協働的な学びの一体的な充実を図り、「学びの選択」ができる教室レイアウト

### 指導方針④

- ・ 個別支援計画を基にしたアセスメントと生徒・保護者との定期的な面談

# 「あたご Space」の指導方針

## 指導方針①

- ・ ゆとりある生活時程と学び直しの可能な1単位時間の授業構成

### 📎「ゆとりある生活時程」とは？

時間割例

通常学級	別室学級	生活時程	月	火	水	木	金
1校時		～9:30	登校				
		9:30～9:35	朝の学級活動				
		9:35～9:45	リフレッシュタイム(軽運動)				
2校時	1校時	9:50～10:40	学活	社会	道徳	英語	保体
3校時	2校時	10:50～11:40	国語	英語	理科	理科	数学
4校時	3校時	11:50～12:40	技術/家庭	数学	保体	国語	社会
		12:50～13:10	給食				
		13:10～13:30	昼休み				
5校時	4校時	13:35～14:25	総合	音楽	美術	総合	
6校時		14:30～14:40	清掃				
		14:40～14:50	帰りの学級活動				
		15:00	下校				

□1日3～4コマ(週19コマ)  
⇒通常学級よりも1日2コマ少ない  
(週10コマ少ない)

□1時間目の開始が通常の2時間目  
⇒心身の調子を整えることを目的に1時間目の時間は「リフレッシュタイム」(軽運動、ソーシャルスキルトレーニング)を実施する。





# 「あたご Space」の指導方針

## 指導方針①

- ・ ゆとりある生活時程と学び直しの可能な1単位時間の授業構成

### 📎「学び直しが可能な1単位時間」とは？

#### 1単位時間の展開例

	内容
前半 20分	<b>【個別(学び直し)の時間】</b> ◇後半で学ぶ内容について、個別で追究したり、学び直したりして、補充の学習をします。
後半 30分	<b>【協働(学び合い)の時間】</b> ◇前半で学んだ内容を活用して、他の生徒と協働的に学んでいきます。

□1単位時間50分の授業を前半と後半に分けます。

ICTを活用して個別の学習と、協働的な学習に取り組みます。



# 「あたご Space」の指導方針

## 指導方針②

- ・体験的な学習とICTを効果的に活用した学習活動の工夫

### 📎「体験的な学習」とは？



美術、音楽、技術・家庭等での  
体験活動の充実

□生徒の学習への意欲を喚起できるよう、  
体験的な活動を多く取り入れます。

例)

- ・音楽・美術の鑑賞、創作活動でのゲストティーチャーを招いた授業
- ・プログラミング、調理実習

□生徒の希望に応じて、通常学級の総合的な学習の時間や部活動の体験を行うことができます。



# 「あたご Space」の指導方針

## 指導方針②

- ・ 体験的な学習とICTを効果的に活用した学習活動の工夫

✎ ICTを効果的に活用した学習活動の工夫とは？



オンラインでの授業参加

- 登校が難しい場合は、オンライン会議システムを活用して、授業に参加することができます。
- オンライン会議システムで双方向のやり取りが難しい場合は、メッセージのやり取りで学習に参加することも可能です。



# 「あたご Space」の指導方針

## 指導方針③

- ・ 個別最適な学びや協働的な学びの一体的な充実を図り、「学びの選択」ができる教室レイアウト

パーソナルラーニング  
スペース



リフレッシュスペース

コラボレーションスペース

学びたい方法を選  
択できる

心身の状況に  
応じて選  
択できる

- 場の選択、学び方の選択が可能
- ◆「パーソナルラーニングスペース(個別学習スペース)」  
⇒ 学び直し・調べ学習
- ◆「コラボレーションスペース」  
⇒ 協働的な学習
- ◆「リフレッシュスペース」  
⇒ 気持ちのコントロール、リフレッシュ



# 「あたご Space」の指導方針

## 指導方針④

- ・ 個別支援計画を基にしたアセスメントと生徒・保護者との定期的な面談



個別支援計画を基にした支援会議



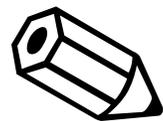
定期的な面談

□学校は「個別支援計画」を作成し、その計画を基に支援方針を立てていきます。  
「個別支援計画」を活用し、生徒や保護者と定期的に面談を行い、生徒の学びを支援していきます。

チャレンジクラス



「あたご Space」の概要

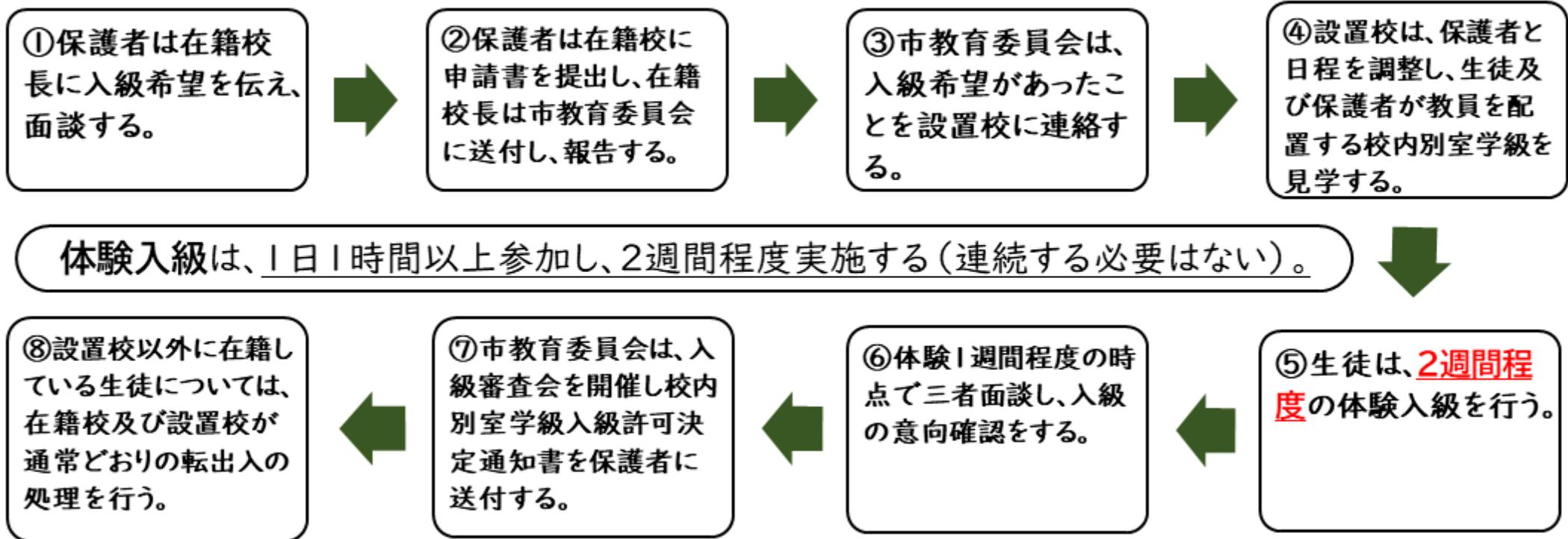


入級や退級について



# 「あ**S**たご **S**pace」の入級の流れ(中学生)

## 入級までの流れ



※入級が決まったら、東愛宕中学校の在籍になります。



# 「あたご Space」の入級について

## 入級の条件

## 入級の対象者であること

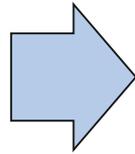
- 体験期間中、オンライン対応も含め、おおよそ6割以上参加していること。ここでいう「参加」とは、1日のうち1時間でも参加できた場合。
- 生徒、保護者ともに教員を配置するチャレンジクラスに入級することを同意していること。
- 生徒が通学に対して意欲的であり、学習に取り組むことができること。
- 原則、自力で通学が可能なこと。



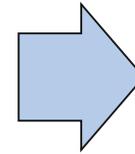
# 「あたご Space」の退級について

## 退級の条件

保護者が設置校の校長に申し出て面談を行い、退級届を提出する。



退級審査会を行い、審査を行う。



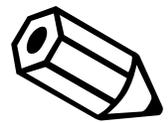
退級が認められ、在籍校(地域の学校)に戻る転校の手続きを行う。

□退級に当たっても入級と同様、面談を行うことが必要です。

チャレンジクラス



「あたご Space」の概要



新中1の入級の手続き



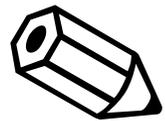
## 「あたご Space」の入級の流れ(新中学校1年生:現小学校6年)

- 10月17日(木)から配信の新中1入級説明会(オンデマンド動画配信)を視聴する。
- 10月17日(木)～11月11日(月)の間に、入級希望の保護者・児童が在籍校(小学校)の校長と面談を行い、申請書類を提出する。
- 11月12日(火)までに学校が、保護者の提出した申請書と学校が作成した書類を提出する。
- 11月25日(月)～11月29日(金)の間に、体験入級を実施する。  
※体験入級の確認を改めて行います。
- 12月下旬に入級審査を実施する。
- 令和7年1月初旬に入級審査の結果を教育委員会から該当の家庭及び在籍校に送付する。

チャレンジクラス



「あたご **Space**」の概要



主なQ & A



## 「あたごSpace」の主なQ&A

Q 特別支援学級とあたごSpaceはいずれも少人数の指導ですが、どんなことが違うのでしょうか？

特別支援学級には、多摩市においては2種類あり自閉症・情緒障害特別支援学級(以下、情緒固定)と知的障害特別支援学級(以下、知的固定)があります。情緒固定では、「自閉症又はそれに類するもので、他人との意思疎通及び対人関係の形成が困難なこと」を対象としており、知的固定では「知的発達の遅滞があり、他人との意思疎通に軽度の困難があり日常生活を営むのに一部援助が必要で、社会生活への適応が困難な程度であること」を対象としています。つまり、自立活動や日常生活の指導など特別支援学級独自の教育課程に基づき将来の自立や社会参加を目指すため、学年や障害の状況に応じて学習集団をグループに分けたり、複数の学年で、合同で学習したりしています。一方で、チャレンジクラス「あたごSpace」は校内別室学級であり、通常学級と同様の教育課程であるため、特別支援学級で受けられる自立活動等の特別な支援はなく、不登校の支援のための少人数での学級編成であることが大きな違いです。



## 「あたご Space」の主なQ&A

Q 現在は不登校ではないが、以前不登校でした。この場合、入級できるでしょうか？

**あたごSpaceは現在、不登校、不登校傾向の生徒に対する支援の手だてとして位置付けられていますので、現在不登校でない場合は、入級の対象としてならないことがあります。**



## 「あたご Space」の主なQ&A

Q入級の希望を学校に申し出る期限が決められていますがそれ以降は申し出を受け付けないのですか？

**令和7年4月1日から入級する生徒を決めるために期日を設けています。それ以降の申し出は、原則令和6年度内は受け付けません。もし、入級の希望がある場合は、令和7年4月以降に体験入級や入級審査を行う形になりますので、令和7年4月以降に改めて在籍校に申し出て、手続きを行うようお願いいたします。**



## 「あたご Space」の主なQ&A

Q 特別支援学級に通学していますが、現在不登校の状態です。入級できるでしょうか？

あたごSpaceでは不登校への支援を行っていきます。そのため、特別支援学級で教育課程を編成して指導を受けることができる自立活動や日常生活の指導等の障害の軽減や克服を目的とした指導はカリキュラムとして設定することができず、特別な指導・支援が十分受けられないことを事前に本人・保護者が理解し、了承した上で、入級審査会で認められた場合、入級できます。

チャレンジクラス  
「あたご Space」

スペース



の新中学校1年生入級説明会



多摩市ユネスコ  
スクールイメージ  
キャラクター  
「ゴーヤン」

多摩市教育委員会